

ぐるり30

～自治調査会だより～

2016
3

NO. 030

[発行日]
2016.3.1



[写真提供] 東村山市 【撮影場所】くめがわ電車図書館《最終ページでご紹介しています!》

- ▶ 平成28年度 調査研究テーマについて 2
- ▶ 平成26年度 調査研究報告書の紹介
「多摩・島しょ地域における火葬場の需給及び運営に関する調査研究報告書」... 3
- ▶ 多摩地域データブック～多摩地域主要統計表～
2015(平成27)年版を発行します 4
- ▶ オール東京62市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト市区町村助成事業紹介 5
- ・狛江市 のびのび会及びとんぼの会等による緑環境保全及び啓発活動
- ・東大和市 東大和狭山緑地管理事業
- ・三宅村 緑化対策事業
- ▶ 多摩交流センターだより
・TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ 6
- ・ちょっと一息「ご当地ナンバープレートあれこれ」..... 6
- ・多摩発・遠隔生涯学習講座3・4月開催予定の講座案内 7
- ・東京雑学大学4月講義案内 7
- ・交流事業「シンポジウム・交流会」
「市民ネットワーク活動のこれまでとこれから」を開催しました 8
- ▶ 編集後記 9
- ▶ とっておきスポット～“ココ”で存じますか?～東村山市 10

Contents

3月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

平成28年度

調査研究テーマについて

当調査会では、多摩・島しょ地域の市町村の広域的・共通課題を中心に、年度ごとにテーマを複数選定して調査研究を実施しています。各年度の調査研究報告書は、多摩・島しょ地域の市町村などに配布するとともに、ホームページ (<http://www.tama-100.or.jp>) にも掲載し公開しています。

平成28年度は5件の調査研究を実施することを予定しており、今回はその概要を紹介いたします。

2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける多摩・島しょ地域市町村の取組方策に関する調査研究

平成27年度の「2020年オリンピック・パラリンピックにおける多摩・島しょ地域の可能性と展望に関する調査研究」では、多摩・島しょ地域への影響及び効果を示し、レガシー（遺産）の構築に向けた市町村の取組方策を提示する予定です。

本調査研究では、その取組の実現に、より具体的に貢献するため、平成27年度の調査研究成果をもとに、市町村が施策を展開する際に必要な詳細情報を、さらに対象を絞り込んで収集・分析します。

多摩・島しょ地域におけるスポーツ振興の推進体制に関する調査研究 ～スポーツコミッションの機能に着目して～

自治体がスポーツ振興策を推進するための専門組織である「スポーツコミッション」の設置が各地で進められています。スポーツコミッションには、合宿や大会の誘致・運営をワンストップで行う組織など様々な形態や機能のものが存在します。

本調査研究では、主として「スポーツコミッション」の形態や機能に着目して、多摩・島しょ地域が2020年オリンピック・パラリンピックのレガシー（遺産）を活かして「スポーツ王国」となっていくための推進体制のあり方を提示します。

基礎自治体における子どもの貧困対策に関する調査研究

現在、17歳以下の子どもの6人に1人が、平均的な生活水準の半分以下で暮らしているとされています。貧困の状態は学習、健康、生活などの面で不利な状況をもたらし、それが将来にも影響する「貧困の連鎖」を生む可能性があります。

先進自治体は様々な施策分野で既に取組を開始していますが、本調査研究では、多摩・島しょ地域の市町村が限られた資源のなかで効果的に取組を進めるための方法を提示します。

誰にも伝わる情報発信に関する調査研究 ～「やさしい日本語」を応用した新たな情報発信～

行政は住民に対して様々な情報発信を行っていますが、今後は災害時など非常時の緊急的な情報伝達や、外国人・独居高齢者・視覚障がい者など「情報の受け取りに弱点を抱える人」への情報伝達の重要性が増していくと考えられます。

本調査研究では、主に多文化共生施策の一手段として研究が進められている「やさしい日本語」を応用したユニバーサルな情報発信・伝達の手法を提示します。

基礎自治体によるオープンデータ化と利活用の可能性に関する調査研究

近年、自治体などの行政機関が保有する情報を、機械判読可能で二次利用しやすいデータ形式で提供する「オープンデータ化」の取組が世界中で行われ、ビジネスや身近な公共サービスへの活用が期待されるようになってきました。

本調査研究では、データの発信方法に加えて、オープンデータ化を利活用につなげるための課題に関して、技術革新の動向等も踏まえた対応策を提示します。

平成26年度 調査研究報告書の紹介

本紙5月号(No.20)で概要を紹介した平成26年度の調査報告書のうち、5件の単年度調査研究報告書について、隔月で詳細を紹介しています。最終回の今月号では、「多摩・島しょ地域における火葬場の需給及び運営に関する調査研究報告書」を紹介します。

本報告書は、当調査会ホームページ(<http://www.tama-100.or.jp/>)からダウンロードできます。

多摩・島しょ地域における火葬場の需給及び運営に関する調査研究報告書

1 背景・目的

日本における火葬の割合は99.9%と世界で最も高率です。現在、多摩・島しょ地域には17の火葬場が存在しますが、今後、団塊の世代の方々の方が平均寿命に達するころには、多くの自治体で火葬場の不足が予測されます。

本調査研究は、多摩・島しょ地域や近隣地域の火葬場の現況などを調査し、将来の火葬場の需給予測を行い、火葬場の効果的な運営方法の考え方を示すことを目的として実施しました。



2 火葬場の現状と課題

- ・多摩地域は火葬場を所有していない自治体が多く、民営火葬場への依存度が高い
- ・多摩地域では2035年頃に死亡者数がピークを迎え、現在の1.5～2.0倍となる
- ・火葬場の建設には住民の合意形成を含め長い期間が必要だが、用地確保が課題
- ・災害時には火葬場や遺体安置場所の不足に加え、広域火葬が機能するか不透明

3 多摩・島しょ地域の火葬場のありかた

① 死亡者数増加への対応

死亡者数の増加に対応するためには、火葬炉数を増やし、かつ、回転数を上げる必要があります。しかし、火葬場は「告別」「見送り」「拾骨」などの葬送行為により、遺族が亡くなった方とお別れをする場所である(単なる焼却施設ではない)ことに配慮が必要です。

本調査研究では、各市町村の住民が利用すると想定される火葬場ごとに、将来必要な火葬炉数(回転数のパターン別)を算出しました。また、各市町村が整備目標をたてることができるよう、回転数別の運営状況のシミュレーションと留意点を示しました。

【例：火葬炉3基×2回転の場合の運営状況】

火葬炉	炉前ホール	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00
1	1						告別	火葬		冷却拾骨準備	告別	火葬		冷却拾骨片付					
2							告別	火葬		冷却拾骨準備	告別	火葬		冷却拾骨片付					
3							告別	火葬		冷却拾骨準備	告別	火葬		冷却拾骨片付					

1炉2回転の場合
1日6件の火葬を行う
場合は3基の火葬炉で
行うことが可能となる
が、運営の余裕は少なくなる

② 災害時の対応

ア 各火葬場における災害時運営体制の検討

- ・遺体安置場所の確保及び搬送方法の検討
- ・火葬炉の回転数が高い状態が続くため、メーカーのバックアップ体制の構築

イ 周辺自治体との連携の検討

- ・火葬場の適正規模での分散配置
- ・相互協力の協定の締結

多摩地域データブック ～多摩地域主要統計表～

2015(平成27)年版を発行します

多摩地域データブックは、国や東京都が発行する人口、産業、福祉等の各種統計資料から、多摩地域の市町村に共通するデータを収集し、市町村等の状況を比較できるようにまとめたものです。

今回発行する平成27年版は、おおむね平成27年12月までに発表された統計データを収録しており、3月下旬に発行を予定しています。最寄りの市役所や町・村役場、図書館等をご覧ください。

また、当調査会のホームページ(<http://www.tama-100.or.jp/>)にも掲載します。

統計を通じて多摩地域に対する理解を深めるとともに、今後のまちづくりを考える上での基礎資料としてご活用いただければ幸いです。

活用例 多摩地域データブックで見る平成26年中の人口増減

本書から、多摩地域、島しょ地域、特別区、東京都全体における平成26年中の人口増減の状況を比較することができます。下表は、地域別に、増減要因ごとの人口増減数を表したものです。

例えば、「都内間の移動」について見ると、多摩地域計が2835人減であるのに対して、特別区計は1349人増となっています。多摩地域は、全体的に都内の他自治体への転出が多く、特別区は、他自治体からの転入の方が多い傾向にあります。

また、「自然動態」について見ると、多摩地域計は2461人減となっており、出生数が死亡数を下回っています。一方で、特別区は4479人の増となっており、東京都全体の1814人増の要因は、主に特別区であることがわかります。

<平成26年中の人口増減>

(単位：人)

	平成26年 1月1日現在 の人口	平成26年中の人口増減						平成27年 1月1日現在 の人口
		<増減率>	他道府県 との移動	都内間の 移動	自然動態	その他の 増減		
多摩地域計	4,199,914	9,588	0.23%	12,746	-2,835	-2,461	2,138	4,209,502
島しょ地域計	26,870	-299	-1.11%	-82	-41	-204	28	26,571
特別区計	9,067,255	86,256	0.95%	60,721	1,349	4,479	19,707	9,153,511
東京都計	13,294,039	95,545	0.72%	73,385	-	1,814	21,873	13,389,584

* 「都内間移動」は、各地域内移動を含む。
「多摩地域データブック～多摩地域主要統計表～2015(平成27)年版」から作成

また、各市町村ごとのデータも掲載していますので、市町村の比較をすることも可能です。

<増加率が高い多摩地域の自治体(上位団体)>

(単位：人)

	<増加率>	平成26年中の人口増減				
		他道府県 との移動	都内間の 移動	自然動態	その他の 増減	
① 狛江市	1.47%	1,173	522	559	16	76
② 武蔵野市	1.14%	1,611	931	212	201	267
③ 三鷹市	1.02%	1,898	1,046	323	117	412
③ 東大和市	1.02%	865	94	753	25	-7

「多摩地域データブック～多摩地域主要統計表～2015(平成27)年版」から作成

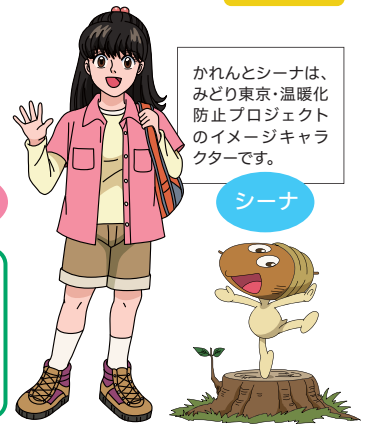


オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村助成事業紹介

「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」では、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。今月も、多摩・島しょ地域自治体の助成金活用事業を紹介し
ます。



かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

かれん

シーナ

① 狛江市

のびのび会及びとんぼの会等による緑環境保全及び啓発活動

狛江市では、市民と協働して緑保全活動を推進するため、小足立ののびのび公園、前原公園の管理を行っています。ボランティア団体により、市民が快適に利用できるような公園内の樹木等の剪定、除草及び清掃等が行われ、季節に応じた花を植栽することで緑化の推進とともに市民へ緑の大切さが伝えられています。

前原公園(写真)は通称「とんぼ池公園」と呼ばれ、園内にある小さな2つの池では、ヤゴ等が保護され、身近に自然の大切さを感じられます。子どもから高齢者まで、幅広い世代が訪れる公園で、市民の憩いの場となっています。

【問合せ先】狛江市環境政策課 TEL:03-3430-1111



Tama 狛江市

② 東大和市

東大和狭山緑地管理事業

狭山緑地は、市の北部に位置し、市民の憩いの場として昭和60年に開園し、植物や昆虫類、鳥類などが身近に観察できる貴重な緑地です。この緑地の維持管理は委託業者、ボランティア団体及び東大和市で行っており、ボランティア団体の協力により、市民に狭山緑地の魅力を知っていただくために、里山体験講座を開催し、竹箸づくり、ミニ門松づくりなどを行いました。

また、日常の緑地の施設維持管理については委託業者等が行い、雑木林の植生、竹の伐採、倒木や枯れ枝の処理等により緑地の保全に努めています。

【問合せ先】東大和市環境課 TEL:042-563-2111



Tama 東大和市

③ 三宅村

緑化対策事業

三宅島は平成12年の噴火災害により、島内の森林区域内には枯損木が大量に残存し、森林の更新阻害や土砂災害等の二次災害を引き起こす要因となっています。そこで、二次災害の防止や土壌の流出防止を図るため、森林植生の早期回復に向けた緑化対策として、枯損木処理及び植栽を実施しました。

また、三宅村森林組合が窓口となり、地元住民から地元産の苗木を確保し、植栽に使用されるまでの管理を行いました。

なお、確保した苗木は森林組合で植栽に使用するほか、緑化ボランティア団体などが、島内で植林活動を行う際などに使用しました。

【問合せ先】三宅村企画財政課 TEL:04994-5-0984



Islands 三宅村



多摩交流センターだより

TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ

第105回

江戸の旅文化 ～やじきた道中から 大山参りまで～

【内 容】 江戸のベストセラーになった滑稽本「東海道中膝栗毛」や松尾芭蕉の名著「奥の細道」からは、今も昔も変わらない旅を愛する日本人の姿が浮かび上がります。江戸の人は一日どのくらい歩いたのか？江戸見物客が泊まった宿はどこにあったのか？物見遊山の旅はご法度だったって本当？といった現代人のソボクな疑問に答えながら、江戸庶民もガイドや地図を片手に出かけた江戸の旅について、豊富な資料を交えて紹介します。さらに五街道を中心とした当時の道路事情から江戸の旅のいでたち、便利な旅グッズ、旅先で味わった土地の名物まで江戸の旅文化をやさしくガイドします。
やじさん きたさんと一緒に、江戸の旅に出かけましょう！

【講 師】坂下 龍平 氏

フリーライター。江戸文化に関する解説、江戸・現在の地図を重ねた散策マップ、古典落語のCDと書き起しを組み合わせ「落語カルチャーブック」シリーズ(技術評論社)、落語の世界を初心者向けに解説した「やっぱり落語がおもしろい」(アスペクト)などの書籍の企画・構成・執筆に携わる。

日 時 平成28年4月17日(日) 14:00～16:00 申込方法 当日会場にお越しください。先着50名までとさせていただきます。
場 所 多摩交流センター会議室 受講料 無 料
京王線府中駅北口 府中駅北第2庁舎6階 問 合 せ 多摩交流センター内 TAMA市民塾 TEL 042-335-0111
(府中市寿町1-5-1)

ちょっと一息



ご当地ナンバープレートあれこれ



本紙1月号(No.28)の「とっておきスポット“ココ”ご存じですか?」でご紹介した日野市で、わたげくんが市の鳥「カワセミ」などがデザインされたナンバープレートを見つけました。みなさんも、このようにイラストなどが描かれた原付バイクのナンバープレートを目にしたことはありませんか?

実は、原付バイクのナンバープレートは市町村が独自に形やデザインを定めることができます。2007年に愛媛県松山市が初めて導入、2015年12月31日現在、都内市町村では枚数限定交付も含め13市が独自デザインを導入しているそうです。

八王子市では世界的観光資源「高尾山」を取り入れていたり、稲城市では、本紙11月号(No.26)でご紹介

した『ご当地キャラクターの活用に関する調査研究報告書』にも登場している市の公式キャラクター「稲城なしのすけ」のイラストを入れるなど、各市の工夫が見られます。

本紙2014年12月号(No.15)に東京オリンピックから50年の記事を掲載してから1年と少し、国土交通省では東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせ、自動車のナンバープレートにも大会ロゴマークのほか、地域によって異なる図柄を導入することを検討しているそうです。様々なデザインのナンバープレートが街を彩る日が楽しみです。

※本紙のバックナンバーは、当調査会ホームページでご覧いただけます。

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会

平成28年3・4月開催予定の講座案内

145回

日時 平成28年3月10日(木) 14:30から約1時間
題名 生涯学習から見た日本の知的交流
講師 高橋 豊 氏(NPO法人小石川後楽園庭園保存会理事、
博士(学術))

内容 玉川大学の通信教育で博物館学芸員資格を取得後、総合商社を早期退職し文化外交にかかる研究に取り組む。当日は、「通信教育から学芸員研究会結成へ」、「研究生活について」述べ、研究成果として、著書『日本の近代化を支えた文化外交の軌跡－脱亜入欧からクール・ジャパンまで』より、知的

交流と主要人物について考え、文化外交と日本の知的交流について私の見解を講義する。



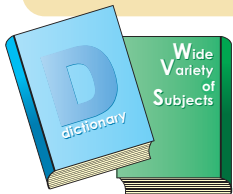
146回

日時 平成28年4月14日(木) 14:30から約1時間
題名 近未来社会を見つめて自分の生涯を決める首席デザイナー
講師 高原 北雄 氏(NPO法人全国生涯学習ネットワーク
会長、航空宇宙技術研究所(現JAXA)元部長)

- 受講料 無料(ただし資料代100円)
- メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場 武蔵野市かたらいの道
- ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先: TEL 070-2648-3520(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

平成28年4月講義案内

(会員は受講料無料・会員外は4月14日を除き、1回につき500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1032回	4月7日(木) 14:00から	アーカイブと記録管理と ファイリング(仮題)	小川 千代子 氏 (国際資料研究所代表)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1033回 ※	4月14日(木) 14:30から	近未来社会を見つめて 自分の生涯を決める 首席デザイナー	高原 北雄 氏 (NPO法人全国生涯学習ネットワーク会長、 航空宇宙技術研究所(現JAXA)元部長)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第1034回	4月21日(木) 14:00から	大相撲 懐かしの名力士たち	上村 以和於 氏 (演劇評論家)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第1035回	4月28日(木) 14:00から	“百人一首”と万葉集	小野 寛 氏 (駒澤大学名誉教授、高岡市万葉歴史館名誉館長)	柳沢公民館 (西武新宿線西武柳沢駅南口 徒歩1分)

☆申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。

※第1033回は、第146回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

[問合せ先] TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)

交流事業「シンポジウム・交流会」 “市民ネットワーク活動のこれまでとこれから”を開催しました

共催(公財)東京市町村自治調査会・東京TAMAタウン誌会

多摩地域で活動している市民団体等へ活動発表と交流の場を提供する「シンポジウム・交流会」を、平成28年1月16日(土)「国分寺Lホール」を会場に開催しました。

当日は、50名近くの皆様に参加をいただき、第I部の基調講演では、「市民団体とイノベーション」のテーマで松本祐一講師(多摩大学総合研究所教授・副所長)から市民活動の課題と方向性について講演をいただきました。

特に、「どんな事業が人をひきつけるか?」について、スペインの有名建築物「サグラダ・ファミリア」を事例に、分かりやすくお話をいただきました。

また、活動紹介では、次の6団体から活動の特色などについて発表がありました。

	発表団体名	活動内容等
1	西多摩百景実行委員会	写真コンテスト等を通して西多摩の魅力を発信する活動
2	特定非営利活動法人 奥多摩カヌーセンター	カヌーレースや体験を通して奥多摩の魅力を伝える活動
3	コミュニティサロン・ ほっとスペースさつき	高齢者、障がい者、学生、児童などが集う世代間交流の場「さつき」を提供する活動
4	NPO法人 ファミリーステーション・ SACHI	子育てサロン、ホームスタート(訪問支援)、おさんぽカフェ(保育)による子育て支援活動
5	NPO法人 地球冒険学校準備会	バリアフリー運動会など、「家族」をキーワードに障がい、世代をこえて交流、理解しあう活動
6	多摩大学 ぽんぽこ多摩の杜& ユニバーサルタクシー広報隊	地域の社会福祉法人が運営する福祉事業にかかる広告PR等の支援活動



▲《松本講師による基調講演》



▲《6団体の発表者の皆様》



◀《グループ意見交換会》 第II部では、参加者が9グループに分かれ活動資金、事業継続、後継者の育成や他団体との連携の4課題について活発な意見交換・発表を行いました。多世代の方との意見交換ができ有意義な交流会だったとの声をいただきました。



《グループ発表》▶

最後に本シンポジウム・交流会のまとめとして、松本講師より市民活動の継続やイノベーションにつなげるためには、「何ができたかを振り返ること」、「市民活動では、何をしないでよいかを把握すること」が大切であるとの貴重な提言をいただきました。

「多摩交流センターだより」の問合せ先

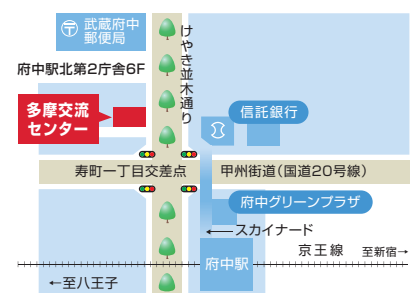
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



大國魂神社! ご注意・駐車場はありません。



tttは、think tank tama & tōshoを意味しているロゴマークです

公益財団法人 **東京市町村自治調査会** のホームページでは、本紙バックナンバーや過去の調査研究報告書(統計資料含む)がダウンロードできます。

このほか、

- ◆東京都市長会及び東京都町村会と共同で実施する「市町村共同事業」の情報
 - ◆都内の62市区町村によるオール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の情報
 - ◆多摩交流センターの利用案内や「TAMA市民塾」の募集、広域的市民活動等の助成に関する情報
- など、盛りだくさんの内容が掲載されています。

今すぐアクセス

自治調査会

検索

<http://www.tama-100.or.jp>



編集後記

- つい先日、お正月を迎えたと思ったら、あっという間に年度末になりました。来月からは平成28年度が始まります。本編記事にありますとおり、当調査会も新年度の調査研究テーマが決まり、4月からの調査開始に向けて準備を進めているところです。
- 当調査会では、平成28年度に「子どもの貧困」に関する研究テーマを取り上げます。内閣府の平成26年版「子ども・若者白書」によりますと、子どもの6人に1人が貧困状態にあるといわれています。貧困は様々な場面で問題を起こしています。子どもの貧困は大学生の間にもうかがえます。大学生の多く(昼間部:52.5%)が奨学金を利用し(2012:日本学生支援機構調べ)、アルバイトをしながら豊かな将来を夢見て勉学に励んでいる実態が話題となっています。
- そんな中、生活の潤いにと楽しみにしていたであろうスキーツアーで、痛ましいバス事故が起こり、未来ある若者のかけがえのない命が多数犠牲となりました。事情は異なりますが、阪神淡路大震災での若者の被災状況を思い出しました。震災で犠牲となった多くの学生などの若者は、少しでも親の負担を軽くしようと比較的家賃の安い耐震性の低い木質アパートに間借りして、建物の倒壊により命を落としました。アパートを子どもと一緒に探し、その子を亡くした親御さんが、「家賃が多少くらい高くても、堅牢な建物を選ぶべきだった…」と、痛恨の極みを語っていた姿が忘れられません。
- 今回の事故は、将来を担う若者が置かれている状況や現在の日本社会を象徴しているように思えてなりません。
- さて、夏の参議院議員選挙は、18歳以上の若者に選挙権が付与される初の国政選挙となります。若者の投票率の低下が課題となっていますが、この機会に将来の日本を見据えてじっくりと考えたいものです。今を生きる大人として少しでも将来への責任を果たせるよう、しっかりと候補者を選ぶとともに、日々の活動を通して、誰もが希望を持てる豊かでよりよい社会をつくる努力をしていきたいと思います。
- 暦では「春」ですが、今年の冬は九州を含む西日本で前代未聞の大雪が降るなど、天候についてはまだまだ油断ができません。皆さま、年度末の忙しい日々をお過ごしのことと思いますが、体調にも気をつけて、元気に新年度をお迎えください。

(M.N)

とっておきスポット

第18回 東村山市

“ココ”
ご存じ
ですか?

東村山市といえば、菖蒲まつりで有名な北山公園を連想するかもしれないけど、今回はわたげのボクが「くめがわ電車図書館」を紹介するよ。



マンションが建ち並ぶ団地の一面に置かれた西武線の黄色い車体、ここが「くめがわ電車図書館」だよ。

この図書館は市立図書館ではなく、一般的に「文庫」とよばれる地域図書館なんだ。東村山市にまだ図書館がなかった昭和42年、子どもと本の出会う機会を大切にしようとする公団の自治会が中心になって、もらい受けた廃棄車両に子どもの本を自主的に収集して開館したんだ。2代目の車両になった今もボランティアの方たちによって運営されていて、東村山市はこの活動に協力してるんだって。

◀《左の写真は作業に参加されたボランティアの方からお借りしました》

車内には絵本や児童書など、約5000冊の子ども向けの本が收藏されているよ。絵本の読み聞かせや工作あそびなどのイベントも開かれているんだって。座席もつり革も広告だって本物そのまま、子どもたちは大喜び!こんなワクワクがいっぱいの図書館なら、本が大好きになりそうだよね。

表紙写真にもあるように、桜の美しいこの場所は、映画「あん」のロケ地にもなったんだ。ほぼ全編東村山市で撮影された「あん」を観て、市内のロケ地巡りをするのも楽しそうだよね。みなさんもぜひ、ふわっと行ってみたい!



【現地案内】

くめがわ電車図書館 東村山市美住町1-4-1

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

西武新宿線久米川駅から徒歩15分

西武多摩湖線八坂駅から徒歩10分

開館時間:水曜日10:00~12:00 14:00~16:30

土曜日14:00~16:30

※開館日が祝日・振替休日の場合は休館

【情報・写真提供】東村山市経営政策部広報広聴課

TEL 042-393-5111 (代表)



【発行日】平成28年3月1日

【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会

【責任者】岸上隆

〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>



再生紙を使用しています。